

昭和51年度 漁況海況予報事業結果

I 調査の実施状況

(1) 実施機関 沖縄県水産試験場 漁業室

担当者 当真嗣誠 (総括)

友利昭之助 (海洋・調査)

久貝一成 (調査)

川崎和男 (調査)

喜屋武俊彦 (卵稚仔・調査)

金城武光 (調査)

吉川一男 (漁況・調査)

(2) 沖合定線調査 (一定線) 定線名 久米島北西沖合定線

ア 実施調査船

船名 図南丸 赤嶺正弘船長 乗組員 総員20名

調査船要目

総トン数 21609t

馬力 1000PS

主機関 6MG25BX 1000PS×680RPM 新潟鉄工所

補機関 6KFL-T 185PS×1200RPM

航海速力 11KT

測深機 T.S-VSI型 馬力2.2KW ワイヤー長1500m

魚群探知機 古野電機製FNV-1500F 周波数50KHz 200KHz

イ 観測定線

第1表第13図のとうり

ウ 調査項目

a) 水温、塩分の各層観測 0、10、20、30、50、75、100、150、200、

300m層 BT観測 一般気象海象

b) 産卵調査 st 1～st 6の6点で実施

稚魚ネット (1.3m口径) の表層水平曳 (約2ノットで5分間)

④ネット (45cm口径) 150m→0mの鉛直曳

c) その他 潮目 D.S.L等

エ 実施概要

航次	調査年月日	船名	測点数	調査員	備考
1	S 51. 6.16 ~ 6.18	図南丸	12	川崎、吉川	補助点11点
2	S 51. 8. 3 ~ 8. 5	"	12	友利	—
3	S 51.10.14 ~10.16	"	12	川崎	—
4	S 51.12. 8 ~12.10	"	12	川崎、金城	補助点11点
5	S 51. 2. 9 ~ 2.12	"	12	吉川	—

(3) 沿岸定線調査(2定線) 沖縄南部海域沿岸定線、金武湾沿岸定線

ア 実施調査船

屯数 21.44 屯

馬力 100 PS

機関の種類 ヤンマーディーゼル 6LD-FE 補機ヤンマーSL15 13.5 PS

航海速力 8ノット

測深機 TS-00型 馬力0.75 KW ワイヤ長500m

魚群探知機 光電SR660 周波数28KHz 200KHz

イ 観測定線

第1表第13図のとうり

ウ 調査項目

a) 水温塩分の各層観測 0、10、20、30、50、75、100、150、200m層

BT観測 一般気象、海象の観測

b) 産卵調査

沖縄南部海域 st 1、3、5、7、9、10の6定点

金武湾 st 2、3、5、7、8の5定点

稚魚ネット(1.3m口径)の表層成(約2ノットで5分間)

④ネット(45cm口径)50m→0mの鉛直成

c) その他 潮目、DSL等

エ 実施概要

航次	調査年月日	船名	測点数	調査員	調査定線
1	S 51. 5. 7 ~ 5.11	くろしお	10	吉川、	沖縄南部
2	S 51. 6.16 ~ 6.18	"	18	友利	沖縄南部、金武湾
3	S 51. 7.22	"	10	吉川	沖縄南部
4	S 51. 8.17 ~ 8.19	"	15	吉川	沖縄南部、金武湾
5	S 51. 9.20 ~ 9.21	"	8	久貝	金武湾
6	S 51.10.26 ~ 10.27	"	10	喜屋武	沖縄南部
7	S 51.12.16 ~ 12.17	"	18	喜屋武	沖縄南部、金武湾
8	S 52. 1.17 ~ 1.19	"	18	吉川	沖縄南部、金武湾
9	S 52. 3.11 ~ 3.12	"	10	吉川	沖縄南部